

## 佐伯祐三 自画像としての風景

日時 : 2023年1月21日(土) - 4月2日(日)

東京会場 : 東京ステーションギャラリー

休館日月曜日 [3/27 は開館]

開館時間 10:00 - 18:00

※金曜日は 20:00 まで開館

※入館は閉館 30 分前まで

大阪、東京、パリ。

3つの街で、画家としての短い生涯を燃焼し尽くした画家、佐伯祐三（1898-1928）。2023年に生誕125年を迎える佐伯の生涯は、多くのドラマと伝説に彩られています。

東京では18年ぶりとなる回顧展となります。

▶音声ナビゲーターガイドは有働由美子さんです。

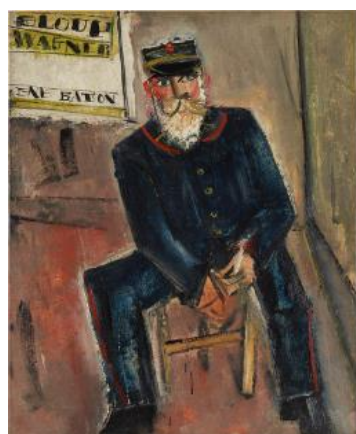
佐伯祐三と同じ北野高校(大阪)出身の有働由美子さんが、音声ガイドナビゲーターに決定しました。

「大阪」「東京」「パリ」の3つの街に暮らした佐伯。自身が生きる街をテーマに、亡くなる直前まで風景画を制作した佐伯の画業の軌跡を、エピソードとともにたどります。



詳細は以下をご覧ください。

[https://www.ejrcf.or.jp/gallery/exhibition/202211\\_saeki.html](https://www.ejrcf.or.jp/gallery/exhibition/202211_saeki.html)



《郵便配達夫》

1928年 中之島美術館



《ガス灯と広告》

1927年 東京国立近代美術館